

***16mm 撮影カメラ 2台収蔵**

2012年3月末に定年退職したM君が残したものについてアーカイブ室新聞第585号の「3月末で退職したM君が残したもの—その1—」(2012年4月26日)という記事を書いた。そのリストの中に、

24. 16mm 撮影カメラ BELL & HOWELL CO. CHICAGO Film CAMERA-70-MODEL MADE IN USA

25. 16mm 撮影カメラ CINE ARROW MADE IN JAPAN

の2点があった。写真1の左がBELL & HOWELL、右がCINE ARROW。



写真1 16mm 撮影カメラ

BELL & HOWELL 社のカメラは残念ながらレンズがない(写真4)。シカゴの会社ということが名盤から読める。名盤が写真2、3である。



写真2 BELL & HOWELL の名盤



写真3 名盤

BELL & HOWELL のカメラの全体写真が写真 4、その蓋を外したところが写真 5 である。



写真 4 BELL&HOWELL のカメラ 残念ながらレンズがない

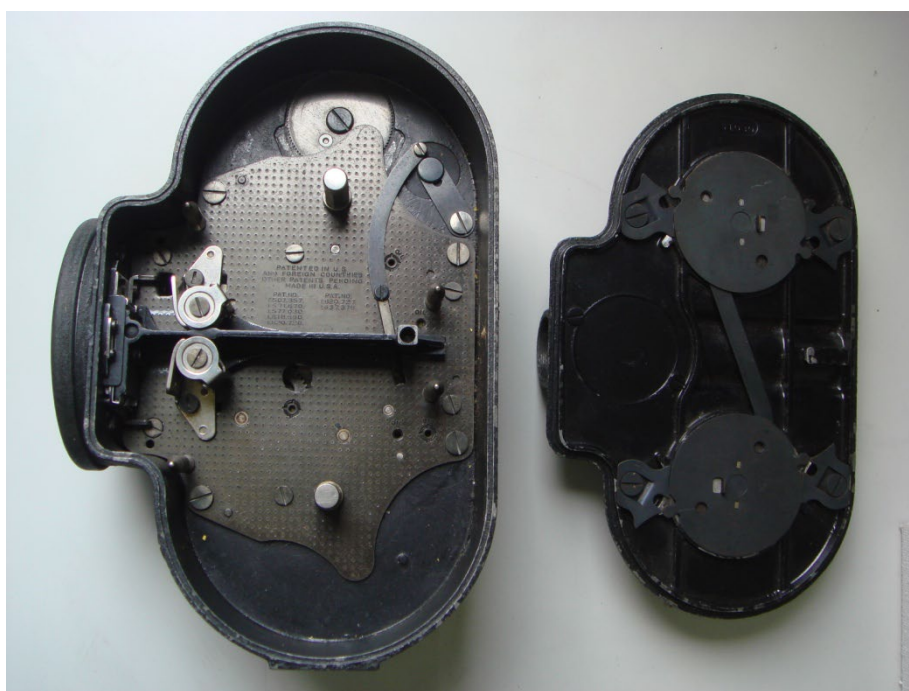


写真 4 フィルムを装填する蓋を外したところ

このカメラは写真 1 に見られるギアでフィルムの駆動がなされるのであろう。ゼンマイのような機構はこの本体にはないようである。

CINE ARROW 社のカメラはゼンマイを巻き上げれば今でも駆動できる。これにはレンズが

一つ装着されている（写真6）。



写真6 CINE ARROW 社のカメラの全体像



写真7 フィルムを装填する蓋を外したところ

これらアーカイブ室新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp